

だいがく とうぶつひょうほんしつ
大学の鉱物標本室をつくり上げた

比企忠 ひきただす

いろいろな鉱山に行って
自分の足で
鉱物を集めた!

《ミネラル・コレクター》
学生のころから鉱物を
集めて、特製の箱に
きれいに並べていた。

けんきゃく おおこえ
健脚と大声

野外調査では
誰も追いつけない。
大声で、授業中は
居眠りできない。

おおひと こうりゅう
多くの人と交流!

学内外の
教育者や研究者にも
研究室や標本室を
開放。

トパーズの比企

結晶をさわるのが好き。
トパーズの研究は
海外でも有名に。



りやくれき
略歴

福井生まれ (生没年 1866~1927年)

1896年帝国大学(東京大学)理科大学地質
学科に入学。卒業後は研究をしながら和
田維四郎後任の、神保小虎の助手となる。
1898年、京都帝国大学(京都大学)に移り、
鉱物標本室の設置に力をつくす。